

絶好の季節到来！ 気軽にお出かけを！
 (横須賀市生涯現役キャンペーン登録)
坂本1丁目児童公園：ラジオ体操の会
 毎週 月・水・金 (祭日も実施)

****時間変更のお知らせ****
4月1日から、午前6時30分に変更

【連絡責任者】1丁目 百寿会(老人会)会長 三浦 千吉(822-5998)
町内会副会長 飯塚 喜昭(824-0275)

第71回坂本成人ソフトボール春季大会

開催日

第1日目 2016 03/27(日)

7:30
8:30

坂本中学校グランド役員集合(各チーム2名以上)

開会式次第

1. 開会の言葉
 2. 会長挨拶
 3. 来賓ご挨拶
 4. 優勝旗、優勝カップ返還(第70回優勝チーム:1丁目)
 5. 準優勝トロフィー返還(自治会)
 6. 選手宣誓(第70回優勝チーム:1丁目)
 7. 審判長注意事項
- プレーボール

9:00

Aグランド

対戦カード		審判		試合予定時間	
一塁側	三塁側				
1丁目	vs	6丁目	5丁目	9:00~10:00	
5丁目	vs	3丁目	6丁目	10:10~11:10	
1丁目	vs	5丁目	3丁目	11:20~12:20	

第2日目 2016 04/10(日)

8:00
9:00

坂本中学校グランド役員集合(各チーム2名以上)

プレーボール

Aグランド

対戦カード		審判		試合予定時間	
一塁側	三塁側				
6丁目	vs	5丁目	3丁目	9:00~10:00	
1丁目	vs	3丁目	5丁目	10:10~11:10	
6丁目	vs	3丁目	1丁目	11:20~12:20	

第3日目 4月24日(日)は

1、2日目の試合結果により
 トーナメント形式で試合します。

*避難所運営訓練用に下記品物が用意されました。



非常用食糧(アルファ米) 100食×2カ所



各避難所の
 担当班別
 ベスト



各町内会別
 の運営委員
 会の幟
 (各1旒)

* 4月24日(日) 「八重桜を楽しむ会」
 午前10時～午後1時頃 坂本公園にて
 詳しくは別項ご案内、チラシ、ポスター等をご覧ください

*注) 当日雨天の場合は坂本中学校体育館で催されます。
 当日の開催情報確認は <http://s2s.jp/s/>

* 5月21日(土) 第40回坂本子供相撲大会
 今回は40回の記念大会となりますので
 出場者全員に記念の品を贈る計画で検討中です
 5月22日(日)が雨天の場合の予備日です
 当日の開催情報確認は <http://s2s.jp/s/>

* 介護予防・在宅療養・高齢者生活支援など地域ぐるみで
 総合的な取り組みが求められる時代になってきました。

4月5日(火) 第18回 桜小学校 入学式 10時

4月5日(火) 第70回 坂本中学校 入学式 13時

新規生徒
 さん
 受付中!

気軽に《書道》始めてみませんか?

小学生～ご高齢の方まで初心者歓迎!

◎月謝=小・中学生 3,000円 高校生以上 4,000円

◎稽古日=毎週火・水・木・土曜日 10:00~20:00 ※詳細はお問合せ下さい。

Tel & Fax 046(897)5416 ✉ fudekoya@jcom.zaq.ne.jp

書道教室『筆子屋(ふでこや)』 坂本町2-11 阿部方(坂本隧道手前)

ゆっくり
 楽しく
 学ぼう!



**同好会等の活動紹介とメンバー募集などにもこの欄をご利用下さい。(無料です) 商業広告の記載も承ります
 5cm×20cm 1000円 (求人広告は無料です)

ご意見・広告・寄稿は (fax) 827-8086 (メール) csc_taka@yahoo.co.jp

お問合せ823-4181 編集責任者 斉藤隆親(連合町内会総務担当)

坂本地域運営協議会設立1周年記念

八重桜を楽しむ会

平成28年

4月24日(日) 10:00~13:00

坂本公園

(雨天の場合 会場を坂本中学校体育館に変更)

出演

- 坂本歌おう会 (コーラス)
- 坂本中学校吹奏楽部 (吹奏楽演奏)
- 聖佳幼稚園 (楽器演奏)

催し物

- 豚汁の振る舞い
(お昼頃を予定。なくなり次第終了。)
- 血圧測定・介護相談
(本庁地区第一包括支援センター)
- ラジオ体操
- 健康遊具の使用法説明



お問い合わせ

坂本地域運営協議会事務局
(横須賀市役所地域コミュニティ支援課内)
TEL: 046-822-8303
FAX: 046-827-4803

主催 坂本地域運営協議会 / 後援 横須賀市 / 協力 本庁地区第一包括支援センター

坂本地域運営協議会とは

坂本地域運営協議会は平成27年5月に設立されました。これまで地域の諸問題に対し、個々の団体がそれぞれに行ってきた活動をさらに一歩進め、団体相互に連携しながら坂本地域のまちづくりを進めていくことを目的としています。

秋本塗装

代表 秋本利晴
携帯 080-5465-9324

地元業者ならではの「信頼を大切に！」をモットーに頑張っております。塗装・リフォームのことならおまかせ下さい。お気軽に無料見積もりお申し付け下さい。

横須賀市坂本町6丁目30番地 TEL 046-801-1250

4月29日「昭和の日」

昭和の日は「激動の日々を経て 復興を遂げた昭和の時代を顧み 国の将来に思いをいたす日」です。
◆大正7年に第一次世界大戦が終結した後、日本は輸出量の大幅減少による恐慌状態にありました。12年には、死者・行方不明者10万5000人の被害をもたらした関東大震災が発生し、戦後恐慌の対応と震災の復興に追われる最中に、時代は昭和へと変わりました。昭和2年の金融恐慌をはじめ、5年の農業恐慌、企業倒産が相次いだ6年の昭和恐慌と景気後退が続き、翌7年の満州事変からは約15年の長きに亘る太平洋戦争を戦いました。そして20年の終戦。一面の焼け野原から、日本の再興が始まったのです。

30年代になると、大量生産技術を導入し、作った製品を大量に輸出し、また自国内でも消費する高度経済成長期に入ります。戦後10年という短期間に、このような経済成長を遂げることができたのは、朝鮮(戦争)特需ももちろんですが、軍需産業のために発達した工業基盤と技術力、それらを駆使する質の高い労働力があつたことによるものです。江戸時代の寺子屋制度から始まり、義務教育が浸透したことで、日本人の識字率は95%を超える高い水準にありました。そのため、新しい技術を習得することも、より効率的に応用することも容易にできました。そして、礼と和を尊び、個より集団を重んじる国民性が、強い団結力となり、共同作業を推進させることができたからです。東京オリンピック開催に関連して、インフラの整備や高層ビルの建設も進み、ハイテクノロジーを駆使した乗物の開発や、テレビ媒体を中心とした情報通信技術も飛躍的に進歩したことで、日本の高い技術力は世界に知られるようになりました。昭和43年には、GNPが世界第2位の経済大国となり、戦後の復興から続く一連の経済成長は「東洋の奇跡」とまでいわれました。

「道なき道」とは、司馬遼太郎の言葉です。「絶望し、深い苦しみや悲しみの中にあつたとしても、諦めなければ、足元には道がある。再び前に進もうとする意思と、一步を踏み出す勇気があれば、おのずと道は切り開かれ、その先に希望を見つけることができる。」という意味だそうです。

時間を惜しんで、身を削るように働く日本人は、「働き蜂」「ワーカーホリック(仕事中毒)」などと海外から揶揄されることもありましたが、しかし、戦後日本の繁栄は、「日本という国がある限り、諦めなければ道は開かれ、幸福な未来に続いている」という希望を胸に、長い苦難の道を歩いてこられた人々の偉大な力によるものであったといえるでしょう。

◆昭和の日とは【昭和天皇の誕生記念日】のことであります。戦前・戦中は現人神(あらひとがみ)であり、雲の上の存在であつた昭和天皇は、終戦の翌年(21年)に人間宣言をされました。その後、約8年半に亘り、総日数165日をかけて沖縄以外の全都道府1411ヶ所を慰問されました。「全国をくまなく歩き、国民を慰め励まし、復興のために立ち上がる勇気を与えることが、己の責務である。」との強いお気持ちで成されたことですが、この陛下のお気持ちは、終戦の詔勅(しゅうせんのみことり)にも表わされています。テレビ放送などで耳にする「耐え難きを耐え 忍び難きを忍び…」その前後の内容を、ご紹介いたします。

「これから日本が受けるだろう苦難は、大変なものになる。国民たちの(今もなお)負けたくないという気持ちも、私はよく知っている。しかし、私はこれから耐え難きことを耐え、忍び難きことを忍んで、将来のために平和を実現しようと思う。私は、ここにこうして国家を守りながら、忠義で善良なあなた方国民の真心を信頼し、いつもあなた方とともにあろう。同胞同士がいがみあい、感情的になり、争い事が起きることで、国家が混乱に陥れば、世界から信用を失うことになりかねない。わたしは、それを強く懸念している。

国を挙げて一つの家族のように、子孫ともども固く団結し、(太古より神々に守られてきた)日本という国の不滅を信じて、総力を将来の建設のために傾けて欲しい。(再生への)道は遠く責任も重大ではあるけれど、道義心と志操を固く持ち、日本の栄光を再び輝かせるように、世界の動きに遅れないように努めなさい。あなた方国民は私の気持ちを理解しそのようにしてほしい。」 終戦の詔勅(部分・現代語訳)

大六天神社

家族葬ホール / 保冷安置室完備

(有) 横須賀博善社

坂本中央プリエールホール

坂本町6-16 (中央斎場入口)

24時間受付フリーダイヤル 0120-60-2089

TEL 822-2089 FAX 822-2625

<http://www.yokosukahakuzensha.jp/>

